

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	3 夢のふくらむ港		24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	総務部 広報・県市連絡調整 担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	15 効果的な港のPR活動をする		継続	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7947
事務事業名	01 帆船等の寄港誘致と一般公開					事業 期間	昭和52年度～継続
目的	県市民の「船」「海」「港」への関心を高めるとともに、多くの人が港に訪れるようにします。					事業 期間	昭和52年度～継続
概要	練習帆船・汽船、南極観測船等の海事海洋に関する船舶を招致し、一般公開、入港歓迎を実施します。					根拠 法令等	
						実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
平成25年度の 実施予定	帆船「日本丸」寄港による入港歓迎伴走、セイルドリル(展帆訓練)及び一般公開を実施する予定です。また、汽船「大成丸」、「銀河丸」及び「青雲丸」の一般公開を実施する予定です。					関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に 実施した 内容・結果	汽船「大成丸」 5月19日(日)一般公開(1,010人) 帆船「日本丸」 11月7日(木)入港歓迎行事・式典 9日(土)セイルドリル 10日(日)一般公開(3,719人) 汽船「銀河丸」 1月19日(日)一般公開(1,118人) 汽船「青雲丸」 3月2日(日)一般公開(1,405人)							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	3,151	4,243	6,235	3,979	3,988	21,596	(款項目節) 歳出:総務費/総務管理費/一般管理 費/報償費、需用費、役務費、委託 料、使用料及び賃借料 (算出計算式) 報償費+需用費+役務費+委託料 +使用料及び賃借料 (その他)
一般会計	千円	3,151	4,243	6,235	3,979	3,988	21,596	
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費 計	千円	3,433	3,392	3,448	3,486	3,504	17,264	
正規職員	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	6,584	7,635	9,683	7,465	7,492	38,860	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
船舶一般公開見学者数(人)	目標	8,200	9,500	13,000	11,000	11,000		11,000	
	実績	3,584	9,022	17,276	7,131	7,252			
	達成率(単年度%)	43.7	95.0	132.9	64.8	65.9			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
船舶イベント見学者数(人)	目標	20,000	20,000	40,000	18,000	18,000		18,000	
	実績	21,056	24,128	49,037	30,129	29,840			
	達成率(単年度%)	105.3	120.6	122.6	167.4	165.8			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)							その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							日常見られない船内を公開することにより多くの方が港を訪れ、「船」「海」「港」への関心が高められます。
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							各練習船とも1,000人以上という多くの見学者が訪れています。イベント見学者数は目標を達成しており、来港者に「船」「海」「港」への理解を深めています。
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							海事思想の普及という共通の目的である独立行政法人航海訓練所等の寄港船の協力により、相互の役割分担の下、事業を実施しています。
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> × <input type="checkbox"/>							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による 今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続 ・ 統合			・南極観測船の寄港誘致を強力に進めていくため。 ・名古屋港のPRIに係る事業として統合。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

引き続き南極観測船・練習船の寄港要請を行うとともに、一般公開情報を事前告知し、一般公開当日は水族館巨大スクリーンやビラの配布等で広報を行い、より多くの方が一般公開に参加できるように努めます。